

講義名	公務員特別演習 (公安職編入)			授業形態	
担当教員	河辺 有希生	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

### 主題と概要

公務員特別演習 (公安職編入) の継続の講座です。  
「究極のサービス業」とも呼ばれる公務員 (公安職) は、人々の暮らしを守るやりがいのある職業です。公務員試験は競争が厳しく、この演習を受講したからといって容易に合格できるものではありません。また知識をただ暗記し、他者からの指示がなければ行動できない人材も求められてはなりません。人間力がある、まさに本学が掲げる「ネアカのびのび」へこたれずの精神をもった人材が求められています。  
そこで本演習は、高いモチベーションを維持しながら試験対策を効果的に継続できるように、短期集中的に様々なヒントを段階的に与えることで、公務員試験突破を目指す諸君をサポートしていくものです。

### 到達目標

1. 公務員 (公安職) の身分、職責、職務の内容について、具体的に理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
2. 自分自身が目指す職種を具体的にイメージし、それを達成するための課題を明確にし、克服するための計画を立てることができるようになる。
3. 公務員試験に臨み、難関を乗り越えていくためのモチベーションを高め、主体的な学びを継続できるようにする。
4. とりわけ難しいといわれる試験科目について、自身の対応能力を向上させることができるようになる。

### 提出課題

- ・各試験対策演習の確認小テスト、中テスト
  - ・エントリーシート
  - ・面接対策シート
- の提出を求めます。

### 課題 (レポートや小テスト等) に対するフィードバックの方法

- ・各試験対策演習の確認小テスト、中テスト
  - ・エントリーシート
  - ・面接対策シート
  - ・論文 (作文) 対策シート
- の授業内での講評、添削指導を行います。

### 評価の基準

試験対策演習と確認小テスト・中テストが 40%、面接対策、エントリーシート、論文 (作文) 対策シート等の提出物が 30%、授業参加度合 (授業態度、授業における質問・発言等及び講義記録ワークシートによって評価する) が 30% の割合、合計 100 点満点で評価します。  
本授業は期末試験を実施せず、成績は授業期間内で全て評価されます。この科目は、継続的な演習を中心とした科目です。欠席すると以降の演習に支障をきたす恐れがあります。このため、目標達成のためには、初回から最後まで全て出席することが大切です。

### 履修にあたっての注意・助言他

公務員試験突破には、主体的に取り組む態度が必要になります。新聞等で社会に興味を持つことはもちろん、試験への演習に主体的・積極的に取り組むことが不可欠になります。

### 教科書

. 使用しない。

### 参考図書

. 公務員試験 新・初級スーパー過去問ゼミ 数的推理 改訂版.	資格試験研究会 (編集)	実務教育出版	1650	9784788972667
. 公務員試験 新・初級スーパー過去問ゼミ 判断推理 改訂版.	資格試験研究会 (編集)	実務教育出版	1650	9784788972650

### その他

必要に応じて資料を配布する。

参考図書：  
「公務員試験「数的推理」が面白いほどわかる本」、柴崎 直孝 (著)、KADOKAWA  
「公務員試験「判断推理」が面白いほどわかる本」、柴崎 直孝 (著)、KADOKAWA

### 授業計画

1. 授業の概要、公務員試験の動向
2. 公務員 (公安職) 研究
3. 試験対策演習 知能分野 (文章理解・資料解釈)
13. 試験対策演習 知能分野 (文章理解・資料解釈)
5. 試験対策演習 知能分野 (判断推理)
6. 面接対策 試験対策演習 教養問題 (数的推理)
7. 試験対策演習 知能分野 (数的推理)
8. 論文 (作文) 対策 (書き方)
9. 試験対策演習 中テスト
10. 面接対策 試験対策演習 知識分野 (社会科学・人文科学・自然科学)
11. 面接対策 試験対策演習 知識分野 (社会科学・人文科学・自然科学)
12. エントリーシート の書き方
13. 試験対策演習 中テスト
14. 論文 (作文) 対策 (演習)
15. まとめ・振り返り  
スケジュールは変更の可能性がります

### 授業形態 (アクティブ・ラーニング)

ア: PBL (課題解決型学習)	イ: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他 (A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

対話型の演習時間を持ちます。

### 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

本講義では、毎回の学習内容の復習や、次回内容についての予習が非常に重要です。予習と復習については、授業中に指示します。主体的に試験対策演習に取り組むことが特に重要になる。4時間程度をかけることを目安とします。また、普段から公務員に関するニュース・情報に関心を持ってください。

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本演習は以下のディプロマポリシーと関連する。  
【流暢科学大学の学生が卒業時に到達して身につけておくべき資質・能力】  
「ネアカのびのび」へこたれずの精神をもった人材  
知識を知識に転換することができる。論理的思考力を持った人材  
創造力 新しい視点と豊かな発想を持った人材  
自主・自立の精神を持った人材  
仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材  
豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるための基礎能力

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

演習形式の授業である。受講生がお互いに、公務員関連事項や面接・エントリーシートについて質問や応答を行う。過去問演習はディスカッションをしながら行います。

### 実務経験の有無及び活用

### 備考